

第4回  
**環境を究める**  
野生生物保全研究センター  
研究発表会  
同日開催：淡水ガメ情報交換会

第1回  
環境を守る：  
環境調査・環境  
アセスメントを  
支える人材育成

第2回  
環境を創る：  
グリーンインフラ  
を創造する  
人材育成

第3回  
環境を育む：  
現場に学ぶ。  
産学官民連携型の  
人材育成

「環境について学びたい」「知見を共有したい」「仲間を増やしたい」  
産学官民の知見と人をつなぎ、環境問題の解決に役立てる場をつくります！

第4回セミナーでは、自然環境保全や持続可能な社会づくりに関わる皆さんの研究や調査、  
取組みを発表し、産学官民の様々なフィールドで活躍する人々と交流する機会を設けます。

大学生・大学院生の研究発表、高校生の研究報告や取組み紹介など、盛りだくさんの内容  
です。どうぞ、ふるってご参加ください。多くの方のご来場をお待ちしております。

一般・学生 **参加費無料**

※終了後、同日開催の**淡水ガメ情報交換会**との合同懇親会あり（一般4000円、学生2500円）

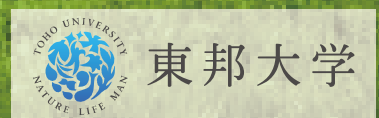
日時 **2017年3月4日（土）**  
午前10時～午後0時45分

場所 東邦大学 習志野キャンパス  
薬学部C館1階・2階  
（千葉県船橋市三山2-2-1）

【主催】東邦大学理学部野生生物保全研究センター（代表 長谷川雅美）

【共催】東邦大学理学部生物学科・生命圏環境科学科

【後援】国土交通省国土技術政策総合研究所、船橋市、（一社）建設コンサルタンツ協会



## プログラム

### 1 開会挨拶 10時～

長谷川 雅美（東邦大学理学部 野生生物保全研究センター長）

### 2 ポスター発表 10時15分～12時35分（※3グループに分け、発表のコアタイムを45分ずつ設定）

#### ● 高校生ポスター参加校（50音順）

国府台高校，津田沼高校，東邦大学附属東邦高校，船橋芝山高校，船橋東高校，松戸南高校

#### ● 東邦大学理学部生物学科

##### 植物生態学研究室

井郷 颯太（4年）：ハイマツとゴヨウマツの葉内生菌の多様性評価

小倉 祐太郎（4年）：人為攪乱により成立した植物群集とその送粉者群集の評価

妹尾 梓（4年）：半自然草原における植物の繁殖特性の調査

##### 地理生態学研究室

本間 李花（4年）：自切経験はオカダトカゲ *Plestiodon latiscutatus* の生存率を改善するのか

宮崎 未来良（4年）：侵略的外来種ミシシippアカミミガメの成長解析 — 性成熟に伴う成長率の変化 —

鈴木 広美（修士1年）：千葉県印旛沼流域におけるナガエツルノゲイトウが流出する生育環境の解明

廣瀬 未来（修士1年）：千葉県南部におけるアライグマ *Procyon lotor* の季節的行動圏・土地利用特性

伊勢崎 泰（修士2年）：侵略的外来種アメリカザリガニはオニヤンマ幼虫の分布と密度を

どのように制限しているか — 野外調査と室内実験による解明 —

#### ● 東邦大学理学部生命圏環境科学科

##### 保全生態学研究室

岩瀬 輝昭（4年）：皇居のお濠の植生および土壌シードバンクの水生植物相

糟谷 栄吾（4年）：小川原湖の水生植物相の現状と水質変化

関 亮介（4年）：シャジクモの発芽特性の解明に向けた基礎的検討

田 智佳子（4年）：草原性の植物の発芽特性 ～クララとウツボグサ～

千葉 大樹（4年）：救荒植物の利用価値を高めるデータベースの構築

平野 佑奈（4年）：千葉県北部の小河川におけるスナヤツメの分布と環境条件

西山 悠平（4年）：アメリカザリガニを食べるのは誰だ：低湿地における外来種管理に向けた基礎研究

白土 智子（修士2年）：土壌シードバンクを活用した水生植物の再生可能性 — 東京都の公園での検討 —

##### 海洋生態学研究室

今井 元海（修士2年）：土砂の一時的被覆が伊豆大島弘法浜の潮間帯生物に与えた影響

### 3 閉会式 & ポスター賞表彰式 12時35分～45分

【ポスター発表とポスター賞について】会場に、各ポスターのコアタイム（発表者がポスター前で説明する時間帯）を掲示します。ポスター賞は、来場者の投票をもとに、一般の人にも伝わりやすく、興味をひく内容のポスターが選ばれます。ポスターのみを審査対象とし、発表者の説明の分かりやすさは問いません。

【お問い合わせ先】 東邦大学自然環境セミナー事務局（担当 鈴木） 6216008s@nc.toho-u.ac.jp